

## 抽選方法の説明

今回申込みを受け付けた東京2020オリンピック競技大会記念千円銀貨幣(第二次発行分)「陸上競技」、「バドミントン」及び「野球・ソフトボール」並びに東京2020パラリンピック競技大会記念千円銀貨幣(第二次発行分)「水泳」については、抽選対象数を超える多数のお申込みがありましたので、次のとおり抽選を行います。

### 【申込状況及び抽選対象数】

区 分	東京2020オリンピック 競技大会記念 千円銀貨幣 (第二次発行分) 「陸上競技」	東京2020オリンピック 競技大会記念 千円銀貨幣 (第二次発行分) 「バドミントン」	東京2020オリンピック 競技大会記念 千円銀貨幣 (第二次発行分) 「野球・ソフトボール」	東京2020パラリンピック 競技大会記念 千円銀貨幣 (第二次発行分) 「水泳」
申込数	383,263個	372,897個	379,233個	349,370個
販売数	100,000個	100,000個	100,000個	100,000個
抽選 対象数	81,000個	81,000個	81,000個	81,000個
当選倍率	4.7倍	4.6倍	4.7倍	4.3倍

「抽選対象数」は、「販売数」から、コンプリートセット用、海外販売用等を控除した抽選対象となる数量を示す。

### 【抽選方法】

各貨幣につき、全てのお申込み(はがき及びオンラインショップでの申込み)に「1」から順番に受付番号を付します。なお、オンラインショップでの申込みには、はがきでの申込みに付した最終の受付番号の次の番号から受付番号を付して整理しています。これらの受付番号1,000ごとを1ユニットとし、その順番をユニット番号とします。

最初に、受付番号の下1桁の当選番号を決定します。

「0」～「9」の番号を付けた10個のボールを、中が見えないようにしてある箱の中に入れ、抽選者が、その箱の中から1個のボールを取り出す方法により行います。当選番号は、そのボールの番号を優先順位第1位とし、以下の優先順位は、その番号に順次1を加えた数とします。なお、この際、「9」の次は「0」とします。

次に、申込みの整理順による不公平をなくすため、抜き取りを開始するユニット番号を決定します。

「0」から「3」までの番号を付けた4個のボールを「百の桁(青色)」の箱に入れ、「0」から「9」までの番号を付けた10個のボールを「十の桁(黄色)」及び「一の桁(赤色)」の箱に入れ、それぞれの箱からボールを1個ずつ取り出す方法により行います。

により決定されたユニット番号から、で決定された当選番号の順に、受付番号の下1桁の番号が当選番号と一致する申込みを順次抜き取り、81,000個目までを当選とします。

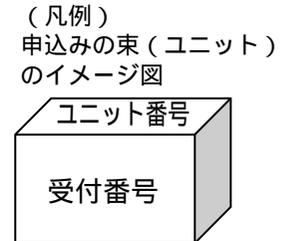
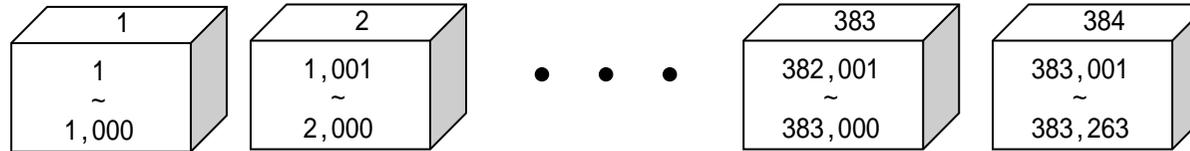
81,001個目以降の申込みは、キャンセル等が生じた場合の補欠とします。

(参考) 抽出例 (東京2020オリンピック競技大会記念千円銀貨幣 (第二次発行分) 「陸上競技」)

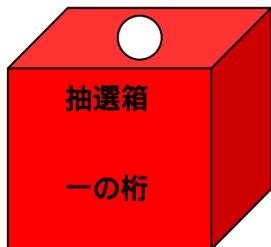
東京2020オリンピック競技大会記念千円銀貨幣 (第二次発行分) 「バドミントン」及び「野球・ソフトボール」並びに  
東京2020パラリンピック競技大会記念千円銀貨幣 (第二次発行分) 「水泳」についても、同様の方法により抽選を行います。

すべての申込みに1から順に連番を振り、1,000ごとを1ユニットとします。

申込数 383,263個  
抽選対象数 81,000個  
当選倍率 4.7倍

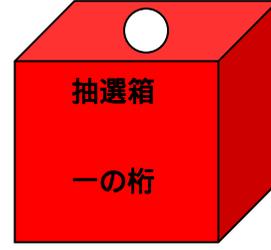
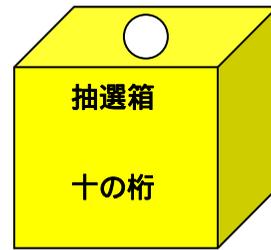
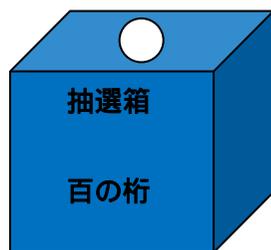


当選番号を決定するために、一の桁の抽選箱から1個、ボールを取り出します。

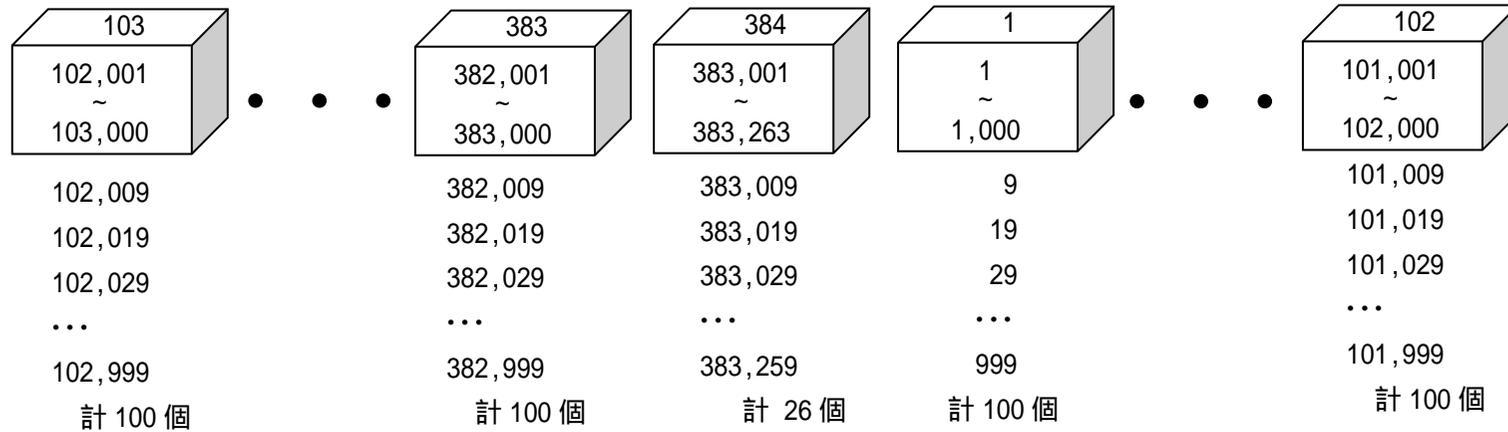


[当選番号の優先順位: 9、0、1、2、3、4、5、6、7、8]

また、抽出を開始するユニット番号を決定するため、百の桁、十の桁、一の桁の抽選箱から各1個、ボールを取り出します。



抽選されたボールの番号により、ユニット番号103番から、順次、下1桁9番の申込みを抜き取ります。



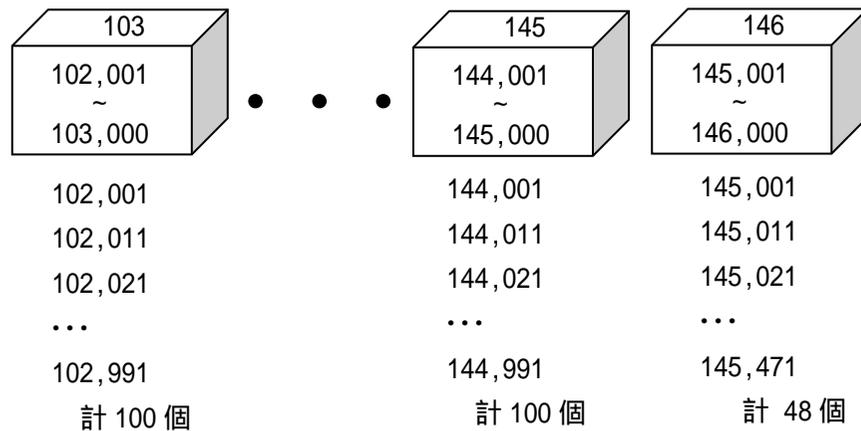
小計 38,326個

下1桁0番の申込みについても、同様に抜き取りを行います。

小計 38,326個

合計 76,652個

さらにユニット番号103番から、順次、抽選対象数の81,000個となるまで、下1桁1番の申込みを抜き取ります。



小計 4,348個

累計 81,000個

ユニット番号146番の受付番号145,481番以降の申込みについては、キャンセル等が生じた場合の補欠となります。